

第18回議会報告会 報告書

地域名	大屋地域		
年月日	平成30年10月22日(月)	会場名	大屋ふれあいの家
開始時間	19時30分	終了時間	21時00分
参加数	男 12 人	女 0 人	合計 12 人
班 長	政次 悟	司会者	谷垣 満
報告者	班員全員	書記	荒田 幹夫
班員名	政次 悟、谷垣 満、荒田 幹夫、瀬原 達夫		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① やぶパートナーズの今後のあり方について、議会はどのように対応していくのか。</p> <p>② 八鹿病院の経営が厳しくなっていると思うが、将来性を含め議会としてどのように判断していくのか。 赤字はどの程度まで容認するのか。</p> <p>③ 八鹿病院で診療を受けるには紹介状が必要なのはなぜか。</p> <p>④ 病院組合の構成市でない豊岡病院では養父市民が払う患者負担が高く設定されている。安くないのか。</p>	<p>① 平成31年度までの3年間は、経営委託料として年間2,400万円の執行は容認する考えであるが、本年度から来年度9月までには会社のあるべき姿、方向性を示すよう意見具申している。この結果も聞きながら判断することになると思っている。</p> <p>② 赤字の大きな要因として医師不足があることは否めない事実であり、市も病院組合と連携して対応を進めている。また、医学の道に進まれる学生に対する奨学金制度も設けている。</p> <p>③ 紹介状は、病院と診療所の機能分担を進めることで、過重な医師の労働抑制を図るための国の制度である。病診連携施策として対応しており、紹介状による患者が5割を切ると診療報酬にも影響が出て、更に経営が厳しくなる。</p> <p>④ 八鹿病院組合は構成市町以外の住民に対しても構成外を理由に患者負担の割り増しはしていない。他の病院でもこのような対応が必要ではないかとは思っている。</p>	

意見交換会での質疑・その他(提言など)	<p>① 議会の中に災害に対する特別委員会などの組織はあるのか。</p> <p>② 避難指示等を発令するのが早すぎるのではないか。</p> <p>③ 県道や市道の道路の傷みが見受けられたり、直してもその後すぐに違う事業者が道路を掘り起こして工事をするなどもあるが、どんな連携をとっているのか。 ・市になってから村なかの市道の除雪をしてくれなくなった。</p> <p>④ 空き家の庭木が大きくなり危険を感じている。持ち主に言っても対応してくれない場合は、市に申し出ればよいのか。</p>	<p>① 議会としては設置していない。</p> <p>② 市は種々の情報を総合的に判断しながら、避難準備、勧告、指示を発令している。ネットを通じて降雨の予想、地中の水分を基にした土砂災害もある程度の想定・把握ができるようになってきている。空振りになっても、早め早めに発令して市民の命を守ることが必要であると受け止めている。</p> <p>③ ご意見は担当部に十分に伝える。</p> <p>④ 市に相談してもらえばよいと思う。</p>
(今後の改善点等)		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 30 年 10 月 25 日

報告者 1 班 班長 政次 悟 印